

事前放流の方法

現況施設の利用を考えてみましょう

水位管理方式

既存のゲート、ため池栓を操作します

短所 人為的な操作が必要です
一定の水位を保つ操作が必要です



長所

既存の施設を利用します
工事的ではありません

放流施設を整備して取組んでみましょう

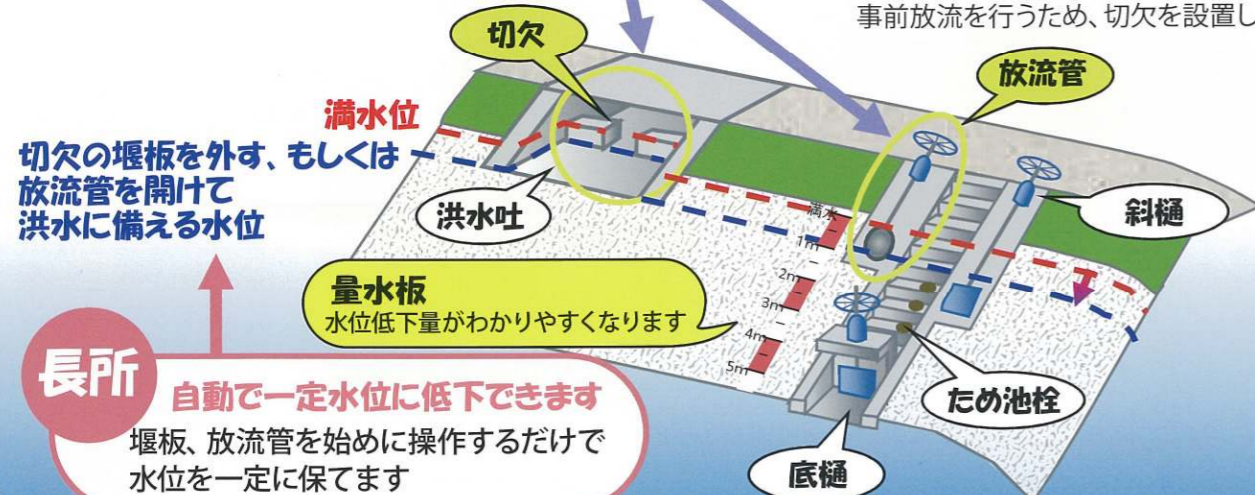
放流方式

洪水吐の切欠、放流管を設置し、操作します

短所 設置工事が必要です
洪水に備える水位を決定し、洪水吐の切欠
もしくは放流管を設置します



事前放流を行うため、切欠を設置した洪水吐



長所 自動で一定水位に低下できます
堰板、放流管を始めに操作するだけで
水位を一定に保てます

農村を潤すため池が豪雨から人を守る

農村を潤す



近年、台風等による大雨や集中豪雨が増え、浸水被害が発生しています。地域資源であるため池を活用し、浸水被害の軽減を検討していませんか？

災害を防ぐ



事前放流の効果

9.10月

台風等による大雨や集中豪雨の前にため池の貯留水を放流し、空き容量を確保することで、下流への流出量が減少します。

排水路や河川があふれることによる浸水被害を軽減します。



事前放流の浸水シミュレーション(他地区事例)

シミュレーション条件:
総雨量 152mm、最大時間雨量 34mm



※1haは約1町です

対象ため池

事前放流は、農業に支障がないような範囲が前提となります。事前放流が可能なため池を選定し、放流量・低下水位を設定します。

防災への役割

下流で浸水被害が発生していますか？
浸水が発生していなくても、事前放流の効果は期待されます。

農業用水としての役割

農業用水として、ため池が占める割合は？
ため池以外の取水例 ■河川・水路からのポンプアップ ■予備のため池がある

かんがい開始時に用水は足りていますか？
■水が集まりにくい(流域面積が小さい等) ■水が貯まりにくい ■土砂が貯まっている

その他の役割

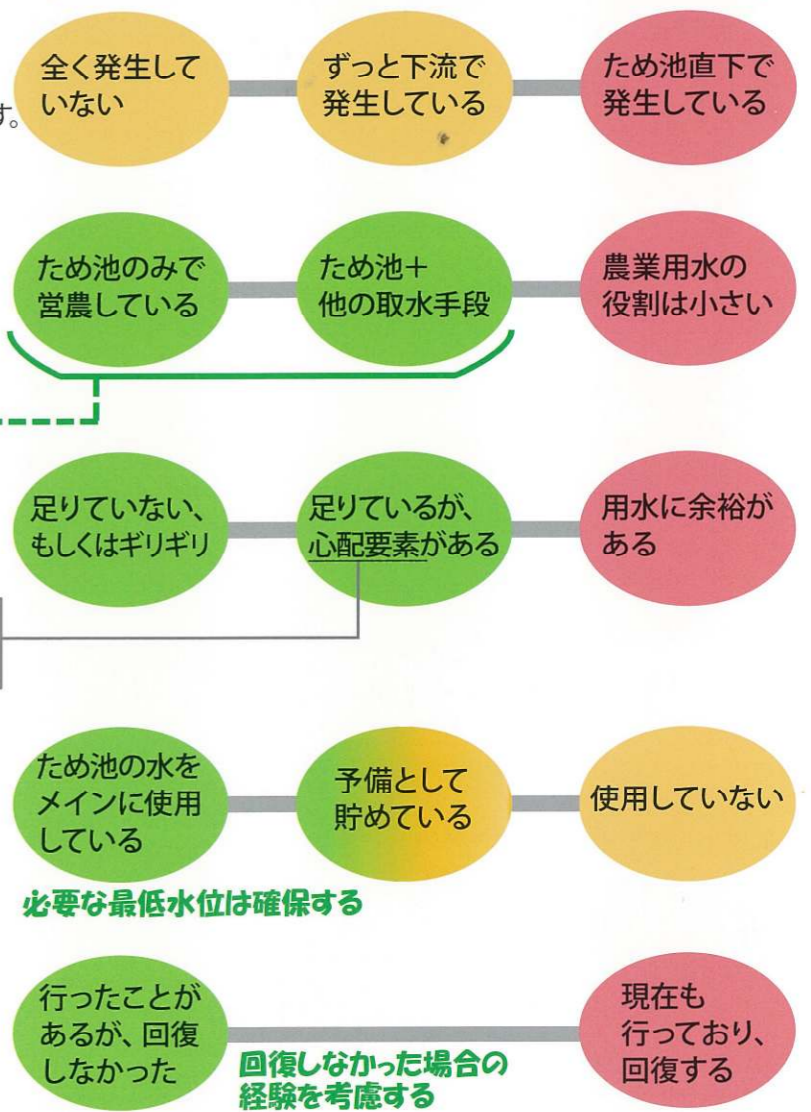
防火用水として使用していますか？

ため池施設状況

“かいぼり”もしくは池干しは行っていますか？

- 1つでもあれば取り組んで欲しい
- チェックが多い程取り組んで欲しい
- 個々のため池事情に合わせて事前放流に取り組む

事前放流の対象レベル



豪雨時の流出量シミュレーション

丹波地区で平成10年に発生した豪雨で、事前放流する場合、しない(満水)場合の、ため池洪水吐から流出する量を想定しました。

事前放流のシミュレーション結果
■流域面積が小さい(10haくらい)のため池は、1mの事前放流で効果があります

事前放流の効果
■ため池が満水になるまで流出しない
■流出しても流出量は少ない

